



▲勝敗を決する最後の1本の綱を懸命に引き合う参加者

冬の災害に備えよう 令和6年度登別市総合防災訓練

2/1

2月1日、青葉・富岸地区を中心に『令和6年度登別市総合防災訓練』（市・市防災会議主催）を実施しました。

この訓練は、大規模な災害に備え、市民や関係機関、市が一体となり行っており、今年度は初の冬季開催。大津波警報のサイレン吹鳴後、対象地区の市民は防寒対策をし、近くの避難場所へ避難訓練、その後、室温10度以下の総合体育館で、床に直接横になる寒さ体験や段ボールベッドなどの防災資機材を用いた訓練などを行いました。積雪寒冷環境での訓練を通し、備えの重要性を再確認した1日になりました。



▲避難所開設運営訓練の様子

本場厚真町にも負けない熱い戦い 第5回あおばまつり

1/26

1月26日、第5回あおばまつり（あおば元気な会主催）が開かれ、会場の青葉小学校には、地域の児童生徒やその家族など約100人が集まりました。

学校と地域の結びつきや子どもたちの健全育成を願い開催することお祭りのメインは、9人一組のチームが同時に3本の綱を引き合う厚真町が発祥の『雪上3本綱引き』。参加した9チームは、綿密な作戦会議のもと、雪で滑る足元に苦戦しながらも優勝を目指して懸命に綱を引き合う本場さながらの熱戦を繰り広げ、参加者は、家族や仲間との絆を深め合っていました。



▲手荷物を預かり跨線橋を渡るポーターサービスのスタッフ

まちに元鬼を振りまく 2025年鬼まつり

2/1

2月1日、節分恒例のイベント『2025年鬼まつり』が同実行委員会の主催で行われました。

13時のアーニスでの出陣式には、福を求め多くの市民が詰め掛け、南京玉すだれや和太鼓の演奏を楽しんだほか、鬼や福の神に扮した約20人の『元鬼ふりまき隊』の登場時には、泣き出す子どもや写真撮影を求めるともたちの姿が見られました。

出陣式を終えた『元鬼ふりまき隊』は、その後、各地区の商業施設やイベント会場を訪れ、無病息災や家内安全、商売繁盛を願い市内に福を振りまいていました。



▲2025年の福を求め会場を訪れた市民など

重い手荷物、私たちが運びます JR登別駅 ポーターサービス

1/28 ~ 2/12

1月28日～2月12日、市と登別国際観光コンベンション協会は、JR登別駅でスタッフが乗客の手荷物の運搬を補助する『ポーターサービス』を実施しました。

本取組は、エレベーターが設置されていない駅構内において、ホームから改札口をつなぐ跨線橋を移動する際の利便性向上や、観光客の満足度を向上させることを目的として、平成27年度より実施しています。訪日客で混雑した1月28日は、8人のスタッフが乗客をお出迎え。大きな手荷物がスムーズに運搬され、満足そうに感謝を伝える乗客の姿が見られました。